



通帳や印鑑の保管場所はもちろ、暗証番号まで聞いておこう

認知症などで判断能力が低下すると、自分で資産管理をするのが難しくなる。成年後見制度など各種制度について一度調べ、早めに対策をとるのも手だ。その対策として注目されているのが、財産管理について、親が子ども(家族)と信託

かつたら……と、生きた心地がしませんでした」
親の資産(負債)は早めに把握しておく。口座情報や生活費の引き落とし口座、不動産や加入保険、株券や貸金庫の情報などだ。美術品や貴金属などは価値がわかる本人が現金に換えておくことが良い。

認知症などで判断能力が低下すると、自分で資産管理をするのが難しくなる。成年後見制度など各種制度について一度調べ、早めに対策をとるのも手だ。その対策として注目されているのが、財産管理について、親が子ども(家族)と信託

「父と早めに今後の生活費や相続について話をしておくことで、資産全体を把握することができました」
不動産会社「日本財託」(東京)のセミナーで、家族信託の制度について学んだA子さん(40代)はこう言う。福岡に住む父(70代)の介

契約を結ぶ「家族信託」だ。親が元気がうちから始めることができ、将来、親の判断能力が低下しても子は契約内容に沿って、入院費や介護に伴う交通費などを財産から出すことができる。「父と早めに今後の生活費や相続について話をしておくことで、資産全体を把握することができました」

「子どもに資産を管理されることに父も納得があった」と思いますが、最終的には納得してくれました。親の不安を解消しながら進めていくことが大事。お金のことは早めに相談しておかないと、認知症になったり、倒れたりしてからでは遅いからです

お墓や葬儀についても準備しておく。菩提寺やお墓の場所、継承者について確認を。それによって、どのようなお墓を守っていくべきかがわかり、葬式や供養の手がかりになる。「お墓は、親のためのものでもや孫のためのもの。自分が負担にならない形を、親と一緒に考えておく」と良

「してほしくないことだけでなく、してほしくないことも親が心地よい環境をつくるだけだから頼りたい人とお互に、聞いておきたい人について、頼らなくてもいい人、来てほしい人、来てほしくない人、聞くのも同様の理由です」
同時にきょうだいなど他の家族がどの程度、親の面倒を見る気があるのか確認しよう。その上で、親の代理で判断する人を決めたり、体の自由が利かなくなったときの住む場所について話し合うと良い。代理判断者は、高齢のパートナーより子どもの方が安心だ。「代理判断者は、医者や看護師、介護職のスタッフと話し状況を理解し、そのつと判断を下すことが求められる。医療や介護制度の知識を理解できることを求められるため、若い子どもが役割を担うことが望ましい」(清水さん)

いでしょう」(清水さん)
葬式についても、希望があるか確認しておくとも良い。親に亡くなるときに連絡してほしい人、してほしいくない人、聞いておくこと、意向に沿った供養ができる。「いざ葬式になったとき誰を呼ぶべきか分らないように、家系図を作り、6親等までの親族を把握しておくこと、より安心です」(同)

「まずは借金の有無、金額の確認が急務。3カ月を超えて借金を被ることになりません。親の財産を把握していない場合には、すぐに調べする必要があります」
争いを避けるためには遺言書を準備してもらうと安心だ。法律で方式が定められているが、よく利用されているのが「自筆証書遺言」と「公正証書遺言」。東さんは、手続きをスムーズに

「お墓や葬儀についても準備しておく。菩提寺やお墓の場所、継承者について確認を。それによって、どのようなお墓を守っていくべきかがわかり、葬式や供養の手がかりになる。お墓は、親のためのものでもや孫のためのもの。自分が負担にならない形を、親と一緒に考えておく」と良

「お墓や葬儀についても準備しておく。菩提寺やお墓の場所、継承者について確認を。それによって、どのようなお墓を守っていくべきかがわかり、葬式や供養の手がかりになる。お墓は、親のためのものでもや孫のためのもの。自分が負担にならない形を、親と一緒に考えておく」と良

「お墓や葬儀についても準備しておく。菩提寺やお墓の場所、継承者について確認を。それによって、どのようなお墓を守っていくべきかがわかり、葬式や供養の手がかりになる。お墓は、親のためのものでもや孫のためのもの。自分が負担にならない形を、親と一緒に考えておく」と良

「お墓や葬儀についても準備しておく。菩提寺やお墓の場所、継承者について確認を。それによって、どのようなお墓を守っていくべきかがわかり、葬式や供養の手がかりになる。お墓は、親のためのものでもや孫のためのもの。自分が負担にならない形を、親と一緒に考えておく」と良

■良い介護施設の見分け方

- 高齢者をずっと車椅子に座らせていないか
- イベント(麻雀、囲碁、料理教室など)を開催しているか。掲示板などをチェック
- 一人ひとりの身体機能に合った支援がされているか。椅子やテーブルをチェック
- 入居者によって、対応がカスタマイズされているか。声かけの内容などをチェック
- 高齢者が声を発しているか、入居者同士の交流はあるか
- 施設の職員が、入居者に話しかけているか

「介護が始まるときの窓口は、各地域に設置されている地域包括支援センターだ。必要に迫られる前に、一度センターに行ってみると対策を立てやすい。介護とまではいかななくても、「離れて暮らして、親の一人暮らしに不安がある」「ゴミ出しや買い物一人でできなくて困っている」などの相談も可能だ。

「介護が始まるときの窓口は、各地域に設置されている地域包括支援センターだ。必要に迫られる前に、一度センターに行ってみると対策を立てやすい。介護とまではいかななくても、「離れて暮らして、親の一人暮らしに不安がある」「ゴミ出しや買い物一人でできなくて困っている」などの相談も可能だ。

死後までついて回るのがお金の話

入院や介護、葬儀や墓には当然、費用がかかる。お金の用意する手順・準備はしっかり把握しておく。母に暗証番号を聞いていなかったらば、相当苦労しました」

「母からは、「何かあったらどうする」と、通帳や印鑑の場所は教えてもらっていたが、肝心の暗証番号を聞いていなかったらば、相当苦労しました」

「母に暗証番号を聞いていなかったらば、相当苦労しました」
母の死後、相続するまで口座は凍結され、ようやく母のお金を手にしたという2年後、自分の口座にお金がない

母からは、「何かあったらどうする」と、通帳や印鑑の場所は教えてもらっていたが、肝心の暗証番号を聞いていなかったらば、相当苦労しました」